2021 年度　関東学生柔道優勝大会

－代表者・主務への連絡事項－

1．提出物について

1）健康記録表の作成(5/17～大会当日まで)

→選手のみならず、**来場する全員**（審判、役員、監督、主務、学生委員、学生係員）

2）Googleforms による健康チェック報告（5/17～29 まで）

→**毎日 17 時まで。**2 回以上報告を怠ると、大会出場を認めない場合がある。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddLTadD8K5KNBAqH_Hr7ORFF5TD6TY_zn51qjX_EHJgwFprA/viewform?usp=sf_link

3）参加確認書

2．代表者または主務が確認・手配する事項

1）選手個々の PCR 結果の確認

→「高リスク判定者」については、至急の再検査

※事務局でも高リスク判定者がいた場合、当該大学代表者に連絡します。

2）ID カードの作成（5/20 掲載予定）

→代表者会議資料を事前送付予定。その中に ID ケースが同封されているため、各大学主務は学連 HP に掲載される ID カードデータを DL して、監督・主務・出場選手の ID カードを作成する。(学生委員、学生係員の ID は事務局作成)

※ケースの再発行はしないため、紛失など無いように保管すること。

3）掲示用オーダーの短冊（5/20 掲載予定）

→オーダー用紙に併せ、掲示用のオーダー短冊を学連 HP に掲載する。主務は「書式は変えず」に、大学名および選手個々の苗字を入力し作成する。また全てに出場カテゴリ（男子 1 部、女子 3 人制等）を入力すること。

なお短冊については、大会当日に「オーダー用紙」と共に試合場係員に提出し、勝敗に関係なく、試合後に必ず受領すること。

3．該当する大学の主務が回答する事項

1）大会当日朝の送迎バスについて（25 日まで）

大会当日朝に「公共交通機関」を用いて来場する大学について、以下の運行スケジュールにて送迎バスを運行する。1 便の最大乗車人数は【40 名】となっていることから、利用希望大学については、希望時刻と乗車総数を大会事務局へ連絡する。事務局で調整し、決定時刻を返信する。なお乗車場所や注意事項については別途送付するので、確認のうえ遵守徹底すること。

出発時刻：①7:20　②7:40　③8:00　④8:20　⑤8:40

２）前日計量の送迎バスについて（25 日まで）

女子 5 人制出場大学で、前日計量に「公共交通機関」を用いて来場する大学について、上尾駅-武道館（往復）の送迎バスを運行する。

使用希望大学は、

①上尾駅出発希望時刻

②武道館出発希望時刻

③乗車人数

上記 3 項目を大会事務局に連絡すること。

４．代表者会議について

現地またはオンラインでのハイブリットにて行う。オンライン希望大学には 28 日までに資料を送付するので確認すること。

５．大会当日について

１）受付について

１階：役員、審判員、学生委員、学生係員

→健康管理表を受付で提出。引き換えに ID カードを発行

２階：監督、主務、選手

→全員が揃って受付を行う。その際【主務を先頭として】、監督、選手（登録順）で、ID カードを首に掛けて整列する。主務は参加確認書および全員の健康記録表を整列順に並べて提出する。

→監督が役員として受付をした場合は、その旨を受付担当に報告し、ID カードを返却すること。

※重要：受付時はソーシャルディスタンスの保持に努めること。

２）受付後

受付後は、会場動線図に沿って進入すること。また２階待機席は指定するので、それ以外の席や、１階フロア・サブ道場等に陣地を設けないこと。

３）アップ～開会式

アップ時は場所取り等はせず、譲り合って使用すること。 9:4 5を目安に選手はアップを終え、「第２試合」までの大学以外は２階席に移動すること。

なお開会式の整列は行わない。（第２試合までの大学は畳外で参加）

４）試合

オーダーの提出時間などは要項による。必ずオーダー表および掲示用短冊を会場係員に渡し、終了後に受領すること。

試合終了毎に畳の消毒を行う。両大学の「試合に出場しなかった登録選手」が担当すること。（会場係員の指示により実施）

なお２部・女子３人制で前記選手がいない場合は出場選手が担当する。

なお試合を終えた大学の主務は ID カードを大会本部に返却すること。

5）閉会式～撤収作業～全日本出場校主務会議

閉会式には、各カテゴリ「決勝進出大学」が参加し、終了後は撤収作業にあたる。
並行して全日本出場校主務会議を本部席前で実施するので、該当大学の主務は参加のこと。

＜その他連絡事項＞

〇全日本出場が決定している「男子１部・女子５人制」大学について、全日本大会のプログラム掲載写真を「できるだけ事前」に事務局へデータにて送付すること。
なお大会当日にプログラム用写真の撮影を行っても構わないが、努めて早急に事務局へデータ送信する。